

舗装工事データ(データコード:0601)記入シート

事務所

出張所

作成年月日

整理番号

平成 19 年 3 月

1. 路線名
路線番号 現旧新 枝番号
1: 現道 2: 旧道 3: 新道
2. 上り下り区分
1: 上り 3: 上下
2: 下り

路線名称(枝番がある時、バイパス名等を記入する)

3. 車線(車線区分+車線番号)

| コード | 車線区分 | コード | 車線区分 |
|-----|-------|-----|--------|
| 1 | 本線 | 5 | 左折車線 |
| 2 | 登坂車線 | 6 | 加減速車線 |
| 3 | ゆずり車線 | 7 | 副道 |
| 4 | 右折車線 | | ランプコード |

(車線番号はセンター側から数えた車線位置番号)

4. 距離標

キロポスト キロポストからの実距離
〔自〕 k m (至) k m

5. 施工延長

m m²

7. 工事実績・計画区分

1: 実績(工事完了)
2: 計画(工事計画)
3: 総合評価
9: その他
*: 不明

9. 工事種別

10: 改築工事
20: 維持工事
30: 修繕工事
41: 占用工事(ガス)
42: 占用工事(電気)
43: 占用工事(上水道)
44: 占用工事(下水道)
50: 請願工事
99: その他
**: 不明

10. 補修理由(2つまで選択可)

1: 舗装破損(ひび割れ)
2: 舗装破損(わだち掘れ)
3: 舗装破損(平坦性)
4: 舗装破損(骨材飛散)
5: 舗装破損(その他)
6: 占用復旧
7: 通報(段差)
8: 通報(振動)
9: 通報(騒音)
10: 通報(その他)
99: その他
**: 不明

11. 要求性能(2つまで選択可)

1: 一般走行性 8: 騒音防止・抑制 15: 温度応力ラック抑制対策
2: すべり止め 9: 流動対策 16: リフレクシヨックラック抑制対策
3: 排水性 10: 摩擦対策 17: 骨材飛散対策
4: 透水性 11: 支持力強化 99: その他
5: 路面温度上昇抑制 12: 凍結抑制 **: 不明
6: 明色性 13: 長寿命対策
7: 着色性・色彩機能 14: 排気ガス浄化対策

12. 施工年月

元号 年 月 日

13. 新設・補修・在来区分

1: 新設工事
2: 補修工事
3: 在来

14. 施工方法

10: 新設 32: わだち部オーバーレイ工法 43: 切削表面処理工法
20: 打換え工法 33: 表面処理工法 44: 切削薄層コンクリート舗装工法
21: 上層路盤打換え工法 34: 薄層コンクリート舗装工法 50: 路上表層再生工法(リミックas)
22: 表層・基層打換え工法 35: シールド材注入工法 51: 路上表層再生工法(リベーブ)
23: 局部打換え工法 40: 切削工法 52: 路上路盤再生工法
30: オーバーレイ工法 41: 切削オーバーレイ工法 99: その他
31: 薄層オーバーレイ工法 42: 切削薄層オーバーレイ工法 **: 不明

15-1. 各種舗装の構造別分類

10: サンドイッチ舗装
11: コンボジット舗装
12: フルデプスアスファルト舗装
15-2. 特殊技術を用いた舗装
20: シックリフト工法
21: 中温化技術
22: スリッパフォーム工法
38: プレキャストコンクリート版舗装
39: 薄層コンクリート舗装
40: 小粒径骨材露出舗装
41: ポーラスコンクリート舗装
42: 連続鉄筋コンクリート舗装
43: プレストレストコンクリート舗装
44: 転圧コンクリート舗装

15-3. 各種舗装の材料別分類

30: 半たわみ性舗装
31: ロールドアスファルト舗装
32: フォームドアスファルト舗装
33: 砕石マスタック舗装
34: ポーラスアスファルト舗装
35: 保水性舗装
36: 遮熱性舗装
37: 透水性舗装
凹凸量の標準偏差1 mm
凹凸量の標準偏差2 mm
(標準偏差1: 平坦性の障害となるマンホール等の部分のデータを除外しない値)
(標準偏差2: 平坦性の障害となるマンホール等の部分のデータを除外した値)

16. 路面種別

1: アスファルト舗装(AS)
2: ポーラスアスファルト舗装(Po)
3: コンクリート舗装(Co)

17. 切削(掘削)

cm

18. 打換率

%

19. 空隙率

%

[舗装構成] (20~23. は下記のコード表より記入する 24. 厚さは1cm単位で記入する)

| 表層 | 中間層 | 基層 | 上層路盤 | 下層路盤 | 路床 |
|------------|-----|----|------|------|----|
| 20. 再生材 | | | | | |
| 21. 材料種類 | | | | | |
| 22. 材料名 | | | | | |
| 23. 最大粒径 | | | | | |
| 24. 厚さ(cm) | | | | | |

20. 再生材

| コード | 再生材 | コード | 再生材 |
|-----|-----|-----|-----|
| 0 | 未使用 | 2 | 再生材 |
| 1 | 再生 | * | 不明 |

22. 材料名

| コード | 材料名 | 材料名 | コード | 材料名 | コード | 材料名 |
|-----|------------|-----|--------------|-----|------|-----|
| 01 | ストアス | 17 | アスファルト乳剤 | 41 | セメント | |
| 11 | 改質アス | 20 | 樹脂系結合材 | 42 | 石灰 | |
| 12 | 改質アスH型 | 21 | 工ホキアスファルト | 99 | その他 | |
| 13 | 改質アスH型 | 22 | 加熱式注入目地・シール材 | ** | 不明 | |
| 14 | その他の改質アス | 23 | 常温式注入目地・シール材 | | | |
| 15 | セミプローションアス | 30 | 添加剤 | | | |
| 16 | 硬質アスファルト | 40 | 乳剤・セメント | | | |

23. 最大粒径

| コード | 最大粒径(mm) | コード | 最大粒径(mm) |
|-----|----------|-----|----------|
| 01 | 2.5F | 13 | 30 |
| 02 | 5 | 14 | 40 |
| 03 | 8 | 19 | 99 |
| 04 | 10 | 10F | ** |
| 05 | 13 | 11 | 13F |
| 06 | 20 | 12 | 20F |

25. TA

cm %

26. CBR

27. 路床改良の有無

1: 改良有
2: 改良無
*: 不明

28. 路床構築の有無

1: 構築有
2: 構築無
*: 不明

30. 疲労破壊輪数

設計期間 年
舗装計画交通量 台/日
疲労破壊輪数 千回
確認方法 1: 促進載荷装置による繰り返し載荷試験
2: 供試体による繰り返し載荷試験
3: 過去の実績
4: 舗装の構造に関する技術基準・同解説 別表1
5: 舗装の構造に関する技術基準・同解説 別表2

31. 塑性変形輪数

道路の区分 1: 第1種 第2種、第3種第1級
及び第2級並びに第4種第1級
2: その他
舗装計画交通量 台/日
塑性変形輪数 回/mm
確認方法 1: 促進載荷装置による繰り返し載荷試験
2: 供試体による繰り返し載荷試験
3: 過去の実績
4: 舗装の構造に関する技術基準・同解説 別表1
5: 舗装の構造に関する技術基準・同解説 別表2

32. 平たん性

測定方法 1: 3mプロファイルメータによる方法
2: 3m直線定規による方法
3: 路面性状測定車による方法
9: その他

33. 浸透水量

測定方法 1: 現場透水量試験器
9: その他
道路の区分 1: 第1種 第2種 第3種第1級
及び第2級並びに第4種第1級
2: その他
浸透水量 わたち部(OHP) mm
非わたち部(BHP) mm

34. 舗装工事名(全角・2バイト文字)

35. 施工業者名(全角・2バイト文字)

36. フラント名(全角・2バイト文字)

37. 透水性舗装

性能規定データ（データコード：0602）記入シート

事務所

出張所

作成年月日

整理番号

平成 19 年 3 月

1. 路線名

路線番号 現旧新 枝番号

1: 現道 2: 旧道 3: 新道

路線名称 (枝番がある時、バイパス名等を記入する)

2. 上り下り区分

1: 上り 3: 上下

2: 下り

9. すべり抵抗

測定年月 元号 年 月

測定方法 1: すべり抵抗測定車

2: 回転式すべり抵抗試験機 (DFテスト)

3: 振り子式スキッドレシスタンスタスタ

9: その他

路面温度

速度1

速度2

速度3

すべり摩擦係数1

すべり摩擦係数2

すべり摩擦係数3

3. 車線 (車線区分 + 車線番号)

| コード | 車線区分 | コード | 車線区分 |
|-----|-------|--------|-----------|
| 1 | 本線 | 5 | 左折車線 |
| 2 | 登坂車線 | 6 | 加減速車線 |
| 3 | ゆずり車線 | 7 | 副道 |
| 4 | 右折車線 | ランブコード | 連結路 (ランブ) |

(車線番号はセンター側から数えた車線位置番号)

4. 距離標

キロポスト キロポストからの実距離

(自) [] k [] m

キロポスト キロポストからの実距離

(至) [] k [] m

10. 路面騒音

測定年月 元号 年 月

測定方法 1: 関東地方整備局所有の路面騒音測定車

2: 近畿地方整備局所有の路面騒音測定車

3: 九州地方整備局所有の路面騒音測定車

4: 中国地方整備局所有の路面騒音測定車

5: 道建設業協会所有の路面騒音測定車

9: その他

測定車両の平均速度 [] km/h

気温

路面温度

路面騒音値

6. 性能確認時期

1: 施工直後

2: 1年後

9: その他

7. 平坦性

測定年月 元号 年 月

測定方法 1: 3mプロファイルメータによる方法

2: 3m直線定規による方法

3: 路面性状測定車による方法

9: その他

凹凸量の標準偏差1 [] mm

凹凸量の標準偏差2 [] mm

(標準偏差1: 平坦性の障害となるマンホール等の部分を除外しない値)

(標準偏差2: 平坦性の障害となるマンホール等の部分のデータを除外した値)

8. 浸透水量

測定年月 元号 年 月

測定方法 1: 現場透水量試験器

9: その他

道路の区分 1: 第1種、第2種、第3種第1級

及び第2級並びに第4種第1級

2: その他

浸透水量

わだち部 (OWP) [] ミリットル / 15秒

非わだち部 (BWP) [] ミリットル / 15秒

11. わだち掘れ

測定年月 元号 年 月

測定方法 1: 横断プロファイルメータによる方法

2: 直線定規による方法

3: 水系による方法

4: 路面性状測定車による方法

9: その他

わだち掘れ量 (最大値) [] mm

わだち掘れ量 (平均値) [] mm

記入要領
・該当コード番号を で囲む。
・欄は数値・コードを記入し、
不明の場合は「.」を記入する。

主任監督員
作成者